

第3学年*組 国語科学習指導案 平成28年*月*日(*)第*校時 **教室 指導者 ** **			
育成する 国語の能力	論理展開を的確にとらえ、筆者の主張を読み取ること。		
単元名	評論読解の工夫 接続表現の働きを理解しよう		
単元目標	○接続表現を意識し、文章構造を理解しながら読もうとする。(関心・意欲・態度) ○根拠と主張、その両者を結ぶ論拠を理解できる。(読む能力) ○文中の語句の意味・用法を理解できる。(知識・理解)		
単元の 評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
	①文と文のつなぎ方に興味を持ち、文章構造内における働きを理解している。	①構成を的確にとらえ、筆者の考え方を理解している。	①接続表現の種類と役割を正確に理解している。 ②文中に登場する語句の意味・用法を理解している。
取り上げる 言語活動	評論文を読んで内容を理解し、論理展開について自分の考えを持って話し合う。		
題材(教材)	野矢茂樹「日本語は論理的か」数研出版『現代文B』 野矢茂樹『論理トレーニング101題』産業図書株式会社 2001年 大学入試センター試験国語過去問題(平成26, 27年追試験 いずれも第一問) 「文のつなぎ方」「論理的な表現とは？」大修館書店『国語表現』2015年		
単元(教材) について	(1)生徒観:語彙集などを用いて語彙力向上のための対策は施してきたが、それだけでは根本的な解決には至らず、自らの力で文章を読み解いていく力の不足が感じられる。演習や模擬試験を通して危機感を持つ生徒が多く、評論文読解への意欲は低くない。 (2)教材観:「日本語は非論理的か」というタイトル通り、本文ではこの命題に対して筆者独自の視点から論証されていく。論理展開の筋道をしっかりとらえさせるにふさわしい教材である。また同じ著者のエッセイ、及び接続表現に関する練習問題を関連させることで、筆者の日本語に対する考え方(論理は接続表現に表れる)をより際立つ形で生徒に理解させることができると考えられる。 (3)指導観:日本語は論理的な表現に向かない構造であると筆者は結論付けているが、ではどのような表現ならば論理的と評価できるか、練習問題を通して考えさせたい。また、文章の論理性と接続表現との関わりについて理解し、接続表現を意識しながらその論理展開を正しく把握することが読解力の向上につながると、学習者に実感させたい。		
指導計画 全6時間	主な学習活動	主な評価	
第1時	・第1, 2段落の読解をする。	・日本人のコミュニケーションの特徴について理解している。(読む能力)	
第2時	・第3, 4段落の読解をする。	・日本語が非論理的な構造を持つことを理解している。(読む能力) ・論理的な日本語表現とはどういうものか理解している。(読む能力)	
第3時	・接続表現の働きについて考える。 ・空欄補充, 文の並べ替え問題を解く。	・接続表現の種類と役割を理解している。(知識・理解①) ・空欄補充, 文の並べ替え問題に正解している。(知識・理解①)	

第4時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>不規則に並べられた段落を、接続表現を手掛かりに再構成する。</li> <li>周囲と意見交換しながら並べ替える。</li> <li>問題演習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>段落冒頭の接続表現の働きに注意しながら、順序通りに段落を並べている。 (読む能力)</li> <li>並べ方について、積極的に意見交換しながら正解にたどり着いている。 (関心・意欲・態度)</li> </ul>
第5時	<ul style="list-style-type: none"> <li>不規則に並べられた段落を、接続表現を手掛かりに再構成する。</li> <li>逆接の機能についてその違いを考える。</li> <li>問題演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>段落冒頭の接続表現の働きに注意しながら順序通りに段落を並べている。 (読む能力)</li> <li>「だが」「しかし」の機能について分析的に考察している。 (知識・理解①)</li> </ul>
第6時	<ul style="list-style-type: none"> <li>コラム「論理的な表現とは？」参照。</li> <li>単元の振り返り、章末問題を解く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を読む際、接続表現に注意するという意識が身についている。 (関心・意欲・態度)</li> </ul>
本 時 案 (第4時)		
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>不規則に並べられた段落を、その冒頭の接続表現の働きに注意しながら順序通りに並べ、筆者の主張がどのような根拠に基づくか、論理展開に沿って的確に読み取ることができる。</li> </ul>	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
1 課題文(平成27センター追試験第1問)第1段落及び第13段落の重要と思われる箇所に補助線を引く(3分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の概要を説明する。</li> <li>前時までの内容を踏まえ、接続表現に注意しながら読み解くことを意識付ける。</li> <li>各段落の要点を押さえられるよう机間巡視しながら適宜助言を加える。</li> </ul>	
接続表現に着目しながら論理の展開を掴み、筆者の主張を正確に読み取ること。		
2 短冊状に5つに分けられた第2～12段落を、冒頭の接続表現に注意しながら並べる。ワークシート(図1)にその理由をメモする。(15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1段落から第13段落への論理展開を意識し、配列を考える際に注意したキーワード、キーセンテンスなどに線を引くよう指示する。</li> <li>箇条書きでも構わないので、簡単に思考の流れをメモさせる。</li> </ul>	
3 (1)グループを作り、お互いの意見を交換しながら、必要であれば再構成する。(5分)  (2)グループの代表者は、構成順を発表する。またそう並べるに至った議論の過程も簡単に述べる(5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの配列を確認し合い、差異があればその部分について意見交換する。他者の意見に納得できれば、並べ替えてもよいことを指示する。</li> <li>異なる解答をもったグループを抽出し、発表させる。重複する解答については省略する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの意見の共通点・相違点について、本文中の表現に沿いながら議論している。 (関心・意欲・態度) 〈話し合いの観察〉</li> <li>他者の意見を聞き、より論理的な構成のあり方を客観的に考察している。 (関心・意欲・態度) 〈話し合いの観察〉</li> </ul>

<p>4 各段落の中心文を抜粋してワークシートに記入し、論理展開に無理がないか改めて確認しながら要旨をまとめる。(8分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各段落の要点を押さえられるよう机間巡視しながら適宜助言を加える。</li> </ul>	
<p>5 (1) 構成順の解答(1分)</p> <p>(2) 正しく並べられた課題文を改めて読み、設問に解答する。(15分)</p> <p>(3) 自己採点をする。(2分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解答として問題文と設問を配布する。</li> <li>・読み取った論理展開を意識しながら設問を考えさせる。</li> <li>・解答・解説の配付、次回の予告をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落冒頭の接続表現の働きに注意しながら順序通りに文章を構成している。 (読む能力) 〈ワークシートの分析〉</li> </ul>